# 豊岡市記者配布資料

| 年月日 | 部課名 | 電話 | 責任者<br>（役職名） |
|---|---|---|---|
| 2025 年<br>５月 23 日（金） | コウノトリ共生部<br>コウノトリ共生課 | 0796-21-9017<br>（内線 2341） | 宮垣　均<br>（課長） |

（件名）

## コウノトリ放鳥 20 周年記念イベントの開催（はしもとみお彫刻展）

（内容）

コウノトリの放鳥から 20 年を機に、生きものや自然との共生について考えるため、下記のとおりイベントを開催します。

記

１　日時　　６月 14 日（土）～22 日（日）午前９時～午後５時
　　※一部イベントは日時が異なります。

２　場所　　市立コウノトリ文化館（祥雲寺 127 番地）
　　※月曜日休館

３　内容

⑴　はしもとみお木彫展「みんな　つながってるよ。」

⑵　みお先生のスケッチワークショップ「生きものを描く」

⑶　はしもとみお×村田浩一トークセッション
　　「生きものたちと　つながり、くらす。」

⑷　活動紹介ポスター展示

※　詳細は別紙およびチラシを参照してください。

４　主催　　豊岡市

５　助成　　一般財団法人自治総合センター　環境保全促進助成事業

６　その他

⑴　最新情報や詳細は、５月 23 日（金）午前９時ごろ公開予定の市ホームページに掲載します。
　　https://www.city.toyooka.lg.jp/konotori/topicsevent/ekonotori/1033292.html

⑵　取材を希望する方は、事前に電話で連絡してください。

《問合せ》
コウノトリ共生課コウノトリ共生係（担当：戸田）
℡：21-9017（内線 2342）

小さな世界都市
-Local & Global City-
TOYOOKA

# コウノトリ放鳥20周年記念イベント概要

## １　背景・目的

2005 年、日本の野外で一度絶滅したコウノトリの放鳥が行われた。その後の放鳥や自然界での繁殖により、現在、450 羽以上のコウノトリが野外で生息しているまでになっている。しかし、羽数の増加と共に繁殖地も広がっているが、交通事故や防獣ネットに絡まるなど、人の生活に起因する負傷なども増加している。

増え続けるコウノトリに対し、その生息環境を強固なものとし、人もコウノトリも安心して住めるまちづくりを、さらに進めるため、あらためて生息環境の創出と保全、次世代育成、普及啓発等を強く進めていく必要がある。

放鳥から 20 年を迎える今年、改めて、コウノトリと共生するまちのあり方について考えてもらう機会として記念イベントを開催する。

## ２　イベント

### ⑴　はしもとみお木彫刻展「みんな　つながってるよ。」

ア　日時

2025 年６月 14 日(土)～22 日(日)

イ　展示作品

「コウノトリの親子」を中心に、里山にくらす生きものの彫刻やスケッチなど。木彫展示館（養父市大屋町）所蔵作品も展示予定。

### ⑵　みお先生のスケッチワークショップ「生きものを描く」

ア　日時

2025 年６月 14 日(土)

①午前 10 時～11 時　②午後１時～２時

イ　内容

コウノトリのスケッチワークショップ。

西公開ケージの飼育コウノトリをモデルに、双眼鏡を使ってスケッチする。

ウ　講師

木彫刻家・はしもとみお氏

エ　対象・定員

・小学生～大学生（高等専門学生、短期大学生、大学院生含む）

・各回 20 人　※応募者多数の場合は抽選

オ　参加申込

(ｱ)　方法　　オンライン申込

https://ttzk.graffer.jp/city-toyooka/smart-apply/apply-procedure-alias/whitestork-20th-workshop/door

(ｲ)　期間　　2025 年５月 25 日(日)～６月５日(木)

カ　持ち物

大判スケッチブック、水彩画道具一式（筆、水彩絵具、パレット、筆洗、ぞうきん）、双眼鏡（貸出可）、学生証

※スケッチブックに指定はないが、大きくて（推奨サイズ F8）表紙の固いものが望ましい

キ　その他

・はしもとみお氏の Instagram でワークショップの様子をライブ配信する可能性あり

⑶　はしもとみお×村田浩一トークセッション「生きものたちと　つながり、くらす。」

ア　日時

2025 年６月 15 日(日)　午後１時 30 分～３時

イ　内容

「里山の身近な生きものたち」をテーマに、里山の風景やそこに暮らす身近な生きものの写真を見ながら、人との関わりについて話す。また、命への思いや人間と生きものが共生する社会を形作るために必要なことなどについて考えていく。

ウ　登壇者

(ｱ)　スピーカー　・はしもとみお氏（木彫刻家）
　　・村田浩一氏（よこはま動物園ズーラシア園長）

(ｲ)　ゲスト　・出口智広氏（兵庫県立コウノトリの郷公園主任研究員、兵庫県立大学地域自然マネジメント研究科准教授）

(ｳ)　司会　・グレゴリー氏（ＦＭたじまパーソナリティ）

エ　定員

・現地：80 人（先着）

・オンライン：300 人程度（※システム上は、1000 人まで可）

※オンラインミーティングツール Webex を使用して配信を行う

オ　参加申込

(ｱ)　方法　オンライン申込　※申込フォーム URL 作成中

(ｲ)　期間　2025 年６月５日(木)～（定員になり次第締め切り）

※オンライン配信の参加申込方法及び開始時期は調整中

⑷　活動紹介ポスター展示

ア　期間

2025 年６月 14 日(土)～22 日(日)

イ　内容

豊岡の自然に関する市内の団体等によるポスター展示。

Exhibition

# みんな つながってるよ。

## はしもとみお木彫展

Photo：DAISUKE Kitayama

いきものたちは、想像以上に身の回りにいます。朝起きると鳥たちの声がするし、畑を掘り返せば虫たちがうごめき、冬にはたくさんのいきものたちの足跡が雪の上を交差して、こんなところに来ていたんだ、と思う事があります。
土地は人間だけのものではなく、いきものたちと地球という星に共生していて、バランスをとりながら分かちあっている、なんと奇跡的な事だろうと思うのです。
いきものたちの生命エネルギーをたくさん日々もらっているので、それらを形に彫りおこしました。

2025年 6月14日（土）ー 22日（日）
9：00 – 17：00（17時閉館）
会場：豊岡市立コウノトリ文化館
休館日：月曜日 ／ 入館料：無料（環境協力金随時募集中）
〒668-0814 兵庫県豊岡市祥雲寺１２７

豊岡市コウノトリ放鳥 20周年記念イベント

# Event

Photo：DAISUKE Kitayama

## 01.

みお先生の
**スケッチワークショップ**

## 生きものを描く

2025年6月14日（土）
①10:00－11:00　②13:00－14:00

会場：豊岡市立コウノトリ文化館（兵庫県豊岡市祥雲寺127）

対象：小学生～大学生（絵を描くことが大好きな方）
定員：各回20名
申込み：オンラインフォームからの申請（応募者多数の場合は抽選）
申込期間：5月25日（日）～6月5日（木）
持ち物：大判スケッチブック、水彩画道具一式、双眼鏡（貸出可）

## 02.

はしもとみお × 村田浩一
**トークセッション**

## 生きものたちとつながり、くらす。

ゲスト 出口智広
兵庫県立コウノトリの郷公園 主任研究員・兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科 准教授

2025年6月15日（日）
13:30－15:00（30分前より開場）

会場：コウノトリ文化館内多目的ホール

定員：80人（会場）
申込み：オンラインフォームからの申請（先着）
申込開始：6月5日（木）～（定員に達し次第締め切り）
その他、オンライン配信も予定しております

### はしもとみお
彫刻家

兵庫県生まれ。三重県北部の古い民家にアトリエを構え、動物たちのそのままの姿形を木彫りにする。材料は、クスノキ。
実際にこの世界に生きている、または生きていた子をモデルにし、その子にもう一度出逢えるような彫刻を目指している。
各地の美術館で、木彫りの動物たちに間近で触れ合える展覧会を開催するほか、世界各地からご依頼を受けての動物たちの肖像制作、フィギュアやオブジェの原型制作や動物たちのイラスト等も手がける。

### 村田浩一
よこはま動物園ズーラシア 園長

兵庫県生まれ。博士（獣医学）。22年間、神戸市立王子動物園に勤務（コウノトリ保護増殖センターの獣医療も担当）。大学教員を経て2011年よりよこはま動物園ズーラシア園長と横浜市繁殖センター参与を兼務。国内の動物園・水族館が加盟する公益社団法人日本動物園水族館協会の会長も務め、国際的な視点に立ってアニマルウエルフェアや生物多様性保全などの取り組みを行うために貢献できることを模索し続けている。

## 両イベントとも参加費：無料

お問い合わせ：豊岡市コウノトリ共生課
mail：kounotorikyousei@city.toyooka.lg.jp
tel：0796-21-9017
主催：豊岡市

イベント詳細や申込フォームは
豊岡市公式ウェブサイトをご確認ください。
https://www.city.toyooka.lg.jp/konotori/topicsevent/ekonotori/1033292.html